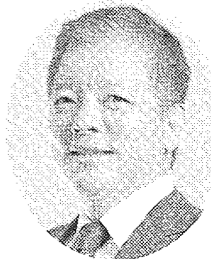


中経 論壇

日本公認会計士協会 東海会
業務開発委員会 委員
岸田 高明



して大きな期待を集めてい
る。

東海地域は、「質実剛健」の精神を大切にし、製造業を
中心に日本経済を支えてき
た。その堅実な文化は信頼と
安定を築く基盤となる一方、
新たな挑戦や変化には慎重な
傾向があり「スタートアップ
不毛の地」と呼ばれることも
あった。しかし、10月に開業
した「STATION A i」(名古屋
(ステーションA i)(名古屋
屋市鶴舞公園に隣接)は、
「イノベーションに挑戦する
すべての人々の可能性を最大
化するグローバルスタートア
ップエコシステム」の拠点と
企業向けのビザ発行、銀行口

不毛の地からの脱却

ステーションA iの挑戦

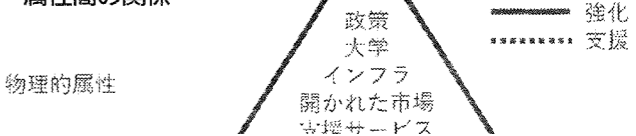
座開設の円滑化、税
制優遇、補助金、資
金調達等のインセン
ティブ施策を強化す
ることも、グローバ
ル化推進のためには
欠かせない要素であ
る。
一方で東海地域
は、世界に誇る製造
業の集積地として、
試作品の製造から実
証実験、量産までを
一貫貫通で対応でき
る強みを持つ。この
特性を生かし、いわ
ゆる「ディープテッ
ク」と呼ばれる革新
的技術を持ったスタ
ートアップに対し、
最速で事業をスケ
ールアップできるビジ
ネス環境を提供でき
れば、国内外の他
の拠点都市と比較して
大きなアドバンテージとな
る。そのためには新しい技術
や価値観を受け入れるマイ
ンドの形成と、ビジネスマッ
チングのための仕組みづく
りが重要となるが、例えば「東
海地域に多くの製造業の顧
客基盤を持つ金融機関の情
報と信用力を活用し、国内外
のディープテック企業と東
海地域の製造業をつなぐ取
組みを強化し、新たな技術や
サービスを社会実装するた
めのプラットフォームを形成
することができれば、新し
いビジネスの創造、グローバ
ルへの発展、さらにその先に
は東海地域からの「ユニコー
ン企業」の輩出も夢ではない
であろう。

オープン カレッジ

地域の産業集積を、起業
家エコシステムという新し
い視点で考えることを提案
したい。今回は、その予備
的な考察として、起業家エ
コシステムという概念を説
明する。

起業家エコシステムとしての地域産業集積

図1 エコシステム
属性間の関係



起業家エコシス
テムの研究者の1人
Piguel(20
15)に示したよう
なエコシステムの

起業促す 土壌が必要

指す。簡潔に言えば、起業
家エコシステムとは、起業
を促進する土壌といってい
ができる。



愛知工業大学
経営学部教授
吉成 亮

て、文化的属性、
性、物理的属性と
の属性を挙げる。
化的属性が社会的
的的属性が物理
的的属性を、社会
的的属性を強化す
る。文化的属性は
域における起業に
本的な信念や展望
ある。具体的には
信念と起業の歴史



PHOTO NEWS

中日の新入団8選手が16日、バンテリ
ンドームナゴヤを見学した。ドラフト
2位の投手、吉田(西濃運輸)は「た
くさんのお客さんが入って、自分が投
げているのを想像すると、わくわくす
る」と笑みを浮かべた。ドームは太平
洋戦争中に空襲を受けた軍需工場の跡
地にある。平和を祈念し、入場ゲート
の前には期間限定でモニュメント「光
の折り鶴」が設置されており、選手た
ちはここを訪れた。同1位の金丸(関
大)は「(跡地と)聞いたことがある。
平和の大切さを感じる」としみじみと
話した。

オピニオン

よしなり・あきら 経営組織
論、組織生態学。横浜国立大学
大学院国際開発研究科博士課程
満期退学。博士(経営情報科学)。
1972年生まれ。

社長が声かけて現場を回る

対話のできる組織文化づく
りとして、特に製造業の中
企業でよく聞くのが、社長自
らが現場に向き、社員一人
一人に毎日声をかけて回ると
いうことです。「おはよう
と声をかけ、調子はどうか
困りがないか、など観察

ナレッジター

しながら話しかけます。「頻
繁に来る」聞いてもらえら
れどわかる、そのうち待ち構
えた社員たちからどんだん声
が届くようになります。「現
場を回っても、みな私社長」
が行くと逃げる」といってお
も聞きませんが、照れながら

経営 大切にする 働く人

警戒なのか、浸透するには少
し時間がかかります。繰り返
し語りかけ「粗探しをされる
わけではない」ことが伝われ
ば、みな安心して話し始める
ようです。
ある企業では、職人が背中
を見せて若手を育てるとい
う文化がありました。しかし
それでは成長に時間がかか
ります。新しいことをやるに
は、若手を採用して早く育て
る必要があると考えた社長
は、現場に行き、「考えさせ
る問いかけ」をして回ったそ

対話のできる組織 (3)

うです。「工夫できる」と
はあるか? このままで良い
か? 無駄はないか? など。
はじめは社長直々の問いか
けに戸惑った社員でしたが、
小集団活動も併せて実施す
ることで、考えて発言し工夫
する、チームで課題解決す
る組織へと変化していきま
した。そういった環境にいれ
ば、人も育ちます。大手製造
業のように採用に優位性があ
るわけではないからこそ、来
た人を育てる。「やってダメ
ならまたやればいい。そう簡